

2026年度



上智大学

履修要覧

【大学院科目編】

目 次

1. 本学の教育理念、校章と校名（ソフィア）の由来
2. 開講科目一覧表の見方
3. 大学院分野横断型科目
4. ジョブ型研究インターンシップについて
5. 神学研究科
 - 神学専攻
 - 組織神学選考
6. 文学研究科
 - 哲学専攻
 - 史学専攻
 - 国文学専攻
 - 英米文学専攻
 - ドイツ文学専攻
 - フランス文学専攻
 - 新聞学専攻
 - 文化交渉学専攻
7. 実践宗教学研究科
 - 死生学専攻
8. 総合人間科学研究科
 - 教育学専攻
 - 心理学専攻
 - 社会学専攻
 - 社会福祉学専攻
 - 看護学専攻
9. 法学研究科
 - 法律学専攻
10. 経済学研究科
 - 経済学専攻
 - 経営学専攻
11. 言語科学研究科
 - 言語学専攻
12. グローバル・スタディーズ研究科
 - 国際関係論専攻
 - 地域研究専攻
 - 国際協力学専攻
13. 理工学研究科
 - 理工学専攻
14. 地球環境学研究科
 - 地球環境学専攻
15. 応用データサイエンス学位プログラム

本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。

【校章と校名（ソフィア）の由来】



校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本質と理想とを表している。

中央にしるされた文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”（SOPHIA）にほかならない。

開講科目一覧表の見方

開講科目一覧表

科目の分野とレベルを示す

*は非常勤教員を示す

○：外国語による
授業科目

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバリング	単 位 数	担当教員名 ※(他) 他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備考
MMMM1000	春	哲学総合研究A	AAA501	2	上智 太郎	○	後期課程「哲学総合講義A」と合併
MMMM2000	春	古代哲学文献特論 I	BBB710	2	紀尾井 花子		夏期集中
MMMM1100	秋	美学芸術学特講 I	CCC753	2	*市谷 良子		22年次生以降対象科目
MMMM2100	秋	宗教思想特論	CCC757	2	(他)目白 肇		
MMMM3000	休講	美学芸術学特論 II	DDD754	2			隔年開講
MMMM3100	休講	日本思想特論	EEE755	2			隔年開講

今年度休講の科目

他専攻教員

備考欄には重要な注意が書かれて
いるので見落とさないこと

大学院分野横断型科目

本学では、学問分野の俯瞰・横断による知的関心・視野の拡充と、専門分野を超えた人的・知的ネットワークの構築を目的とし、「研究」を切り口とした哲学的、学術的かつ実用的な内容を大学院の各研究科所属の教員が輪講形式で担当・教授する「大学院分野横断型科目」を開設しました。

2026年度の開設科目は次の通りです。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91j00	2	コーディネータ HAIDAR Juan 池田 真		輪講 [30名] 博士前期課程または修士課程1年次生対象

履修上の注意

- 1) 本科目は大学院博士前期課程または修士課程の1年次生を対象とした抽選科目である。履修を希望する者は、秋学期履修登録期間冒頭の「抽選エントリー期間」に Loyola で抽選科目のエントリーを行うこと。
《秋学期抽選エントリー期間》
2026年9月21日(月) 10:00~9月25日(金) 23:59まで
※履修登録期間及び抽選科目の詳細は「履修要覧〔ガイド・資料編〕」p. ガイド 33 参照
- 2) 本科目の評価にはP(合格)、X(不合格)を使用する。
- 3) 本科目を履修した場合、修了に必要な単位として算入されるか否かは研究科・専攻によって異なる。「履修要覧〔大学院科目編〕」の自分が所属する研究科・専攻のページを参照し、取扱いについて確認すること。

ジョブ型研究インターンシップについて

本学博士後期課程に在籍する正規生は、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会を通して希望する企業へ応募し、承認された場合には当該インターンシップに参加することができます。参加に際しては、理工学研究科が開講する「ジョブ型研究インターンシップ」科目を履修登録する必要があります。インターンシップ参加終了後、当該科目に合格すると2単位が付与されます。企業や官公庁における先端的な研究プロジェクトや実践的な業務を通じて、自らの専門技能の向上に加え、広範囲の実践力を涵養し、トランスファラブルスキルを身に付ける事を科目の目的とします。

(※) ジョブ型研究インターンシップとは、産業界と大学が協力して実施する長期（2か月以上）・有給が前提・ジョブ型のインターンシップ制度です。

○開設科目について（詳細は理工学研究科博士後期課程の開講科目一覧表を参照）

【春学期】「ジョブ型研究インターンシップⅠ」

【秋学期】「ジョブ型研究インターンシップⅡ」

○単位付与について

成績はP（合格）またはX（不合格）を付与する。なお、インターン終期により、各学期の成績公開までに成績付与が間に合わない場合は、次学期のいずれかの日に随時付与する。また、成績付与の時期に離籍していた場合には登録科目は削除することとし、履修者は予め承知の上で履修登録することとする。

○修得単位の取扱い

自身が所属する専攻による。

インターンシップ参加を希望する学生は、指導教員に相談し、指導教員からの許可後、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会を通して、参加者を募集している企業とのマッチングを行う。（インターンシップ参加の手続きの詳細は「ジョブ型研究インターンシップ参加学生ガイド」(My Sophia > キャリア > WEB キャリアセンター > 博士後期課程学生)を参照)。

成立した場合、速やかに学生本人が学事センター窓口にて本科目への履修登録申請を行うこと。